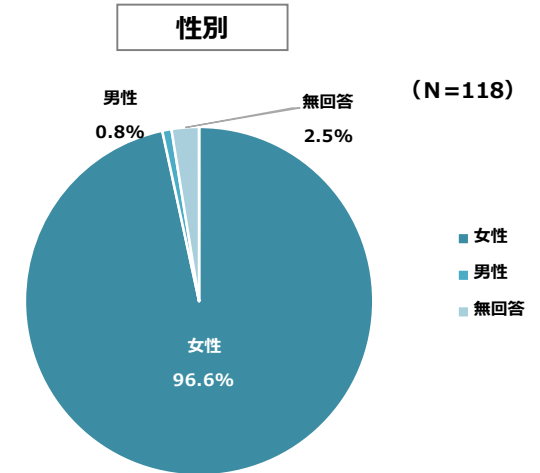
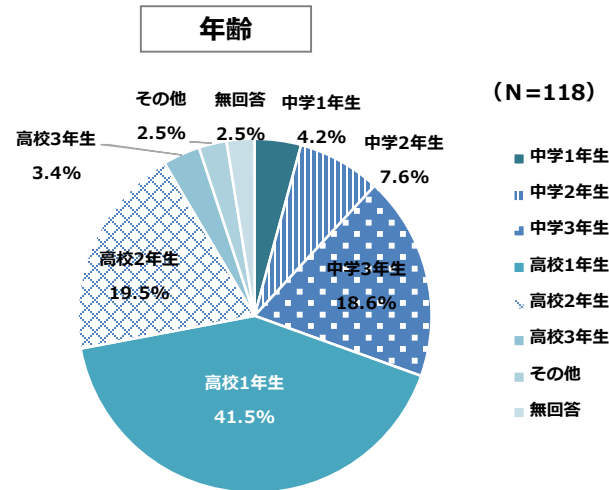


女子生徒等の理系の進路選択にかかる意識について

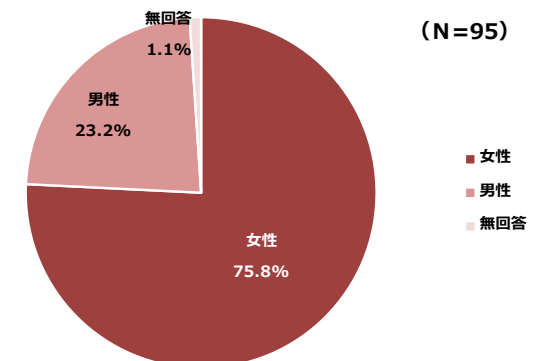
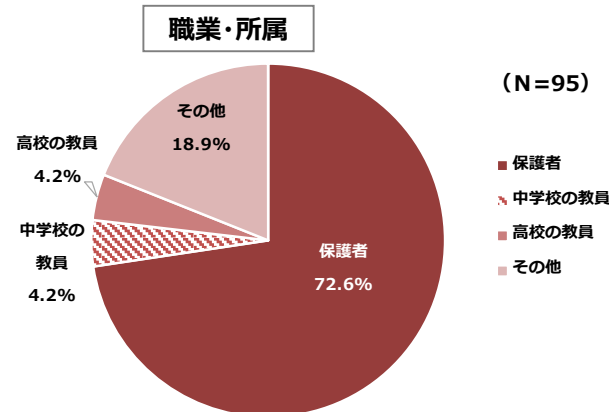
1. 調査方法
平成29年5月27日実施イベント「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来」アンケート
2. 対象者
女子中高校生、保護者、教員等のイベント出席者
配付数：261 有効回収数：213（生徒118、保護者・教員等95） 有効回収率：81.6%
3. 主な調査項目
理系の進路選択にかかる悩みや不安/文理選択の決め手/理系の進路選択に対するイメージ/理系の進路選択にあたり体験してみたいこと/「リケジョ」が少ない理由・増やすために必要なこと など

1. 属性

生徒



保護者・教員等



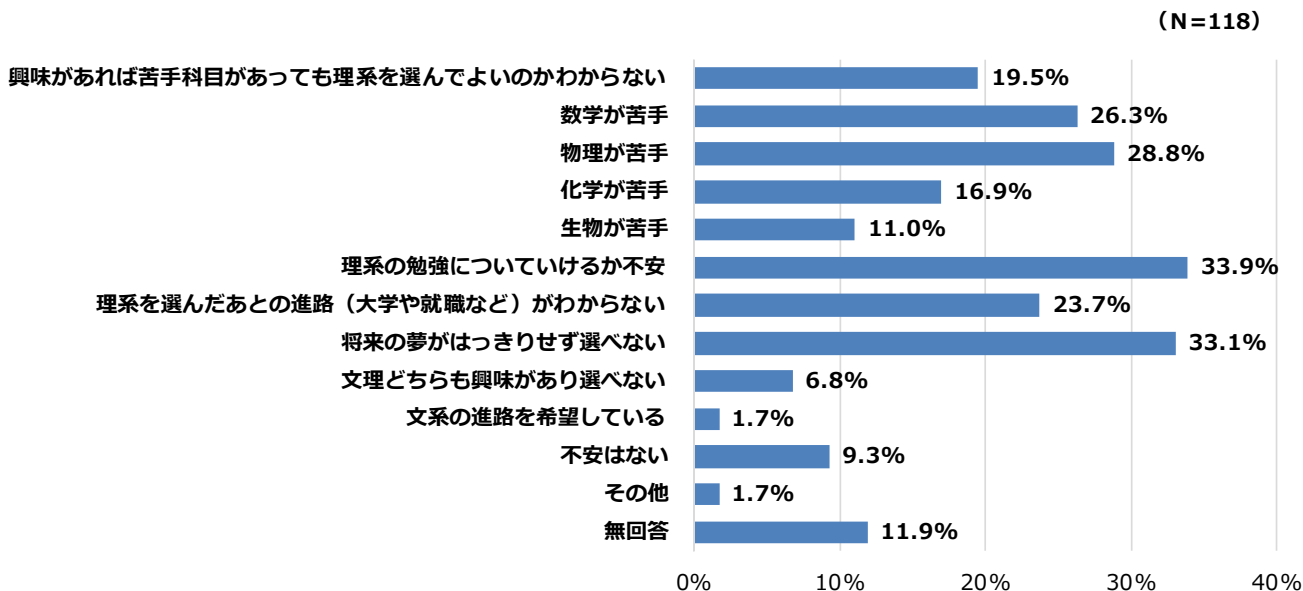
女子生徒等の理系の進路選択にかかる意識について

2. 理系の進路選択にかかる悩みや不安

- イベントに参加した生徒のうち、**78.8%**（「不安はない」「無回答」を除いた数）が**理系の進路選択について、悩みや不安を抱えている。**
- **理系の勉強に対する不安が33.9%**と最も多く、特に物理・数学が苦手との回答が約3割にのぼり、化学や生物よりも苦手意識が強い。
- 「将来の夢がはっきりせず選べない」との回答が33.1%と2番目に多くなっている。
- 保護者・教員等のうち、「お子様または生徒から悩みや不安を聞いたことがある」との回答は約4割。

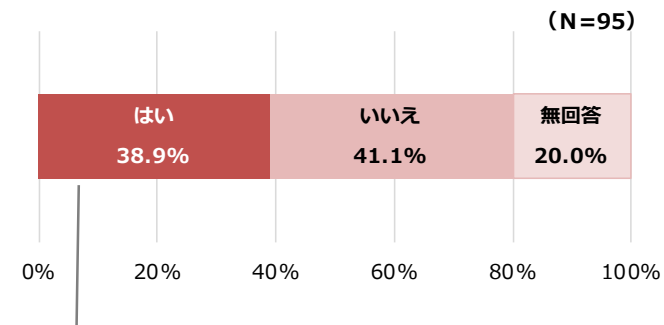
生徒

Q.理系の進路選択について悩みや不安はありますか。（複数回答）



保護者・教員等

Q.お子様または生徒から理系の進路選択について、悩みや不安を聞いたことはありますか。



◆ 教科にかかる悩み

- 数学が苦手
- 苦手科目の伸び悩み
- 教科選択と進路の関係性 等

◆ 大学、就職、結婚等将来の悩み

- 具体的な将来のイメージが持てない
- 結婚や出産のこと
- 何がやりたいかわからない、学部はどこを選ばばいいか 等

◆ その他

- 部活との両立
- 親が文系出身のため、どのように理系の環境を家庭内で作るか
- 女子が少ないから配慮が充分ではないのではないか 等

女子生徒等の理系の進路選択にかかる意識について

3. 文理を選択する際の決め手

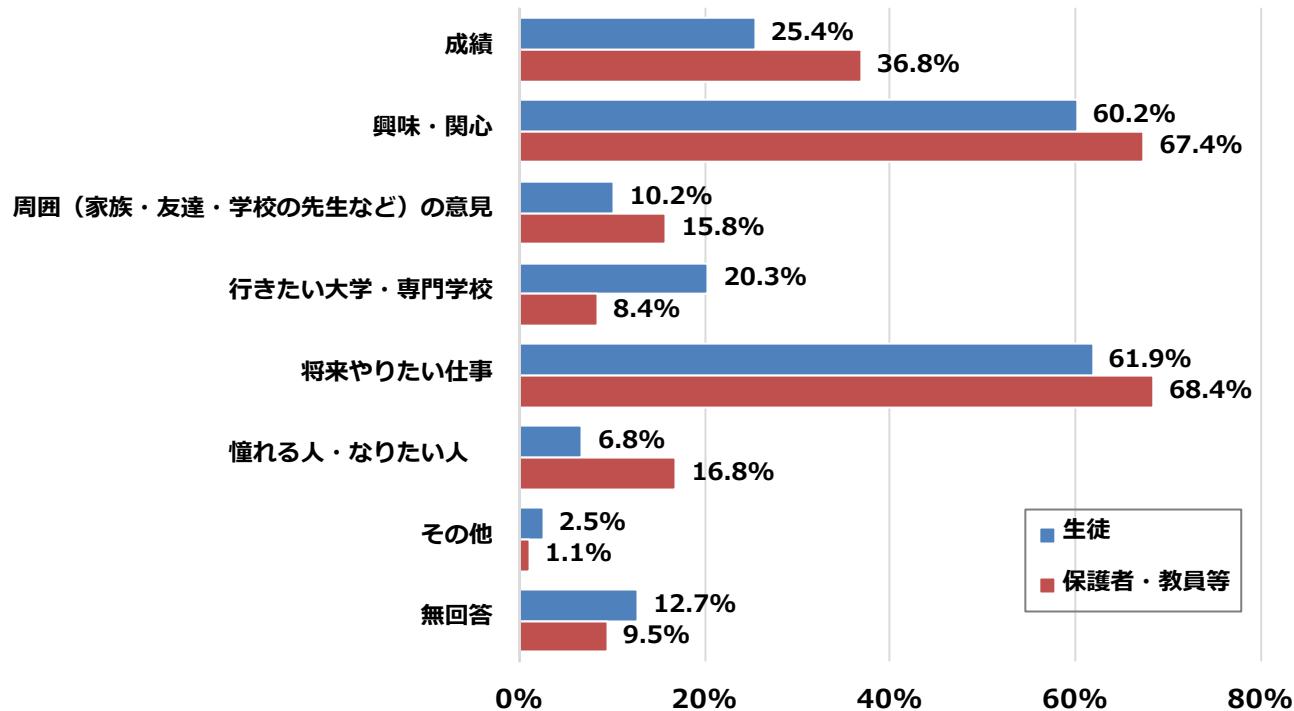
- 生徒、保護者・教員等ともに、文理選択の決め手となる上位3項目は共通しており、「将来やりたい仕事」が最も多く、次いで「興味・関心」、ポイント差はあるものの「成績」が3番目。
- 生徒のうち20.3%が、「行きたい大学・専門学校」との回答に対し、保護者・教員等の回答は8.4%と10ポイント以上の差がある。
- 保護者・教員等のうち、16.8%が、文理を選択する際の決め手を「憧れる人・なりたい人」と回答しているが、生徒の回答は6.8%と10ポイント下回っている。

生徒

Q.文理を選択する際に、何が決め手になりますか。(複数回答) (N=118)

保護者・教員等

Q.お子様または生徒が文理を選択する際に、何が決め手になると思いますか。(複数回答) (N=95)

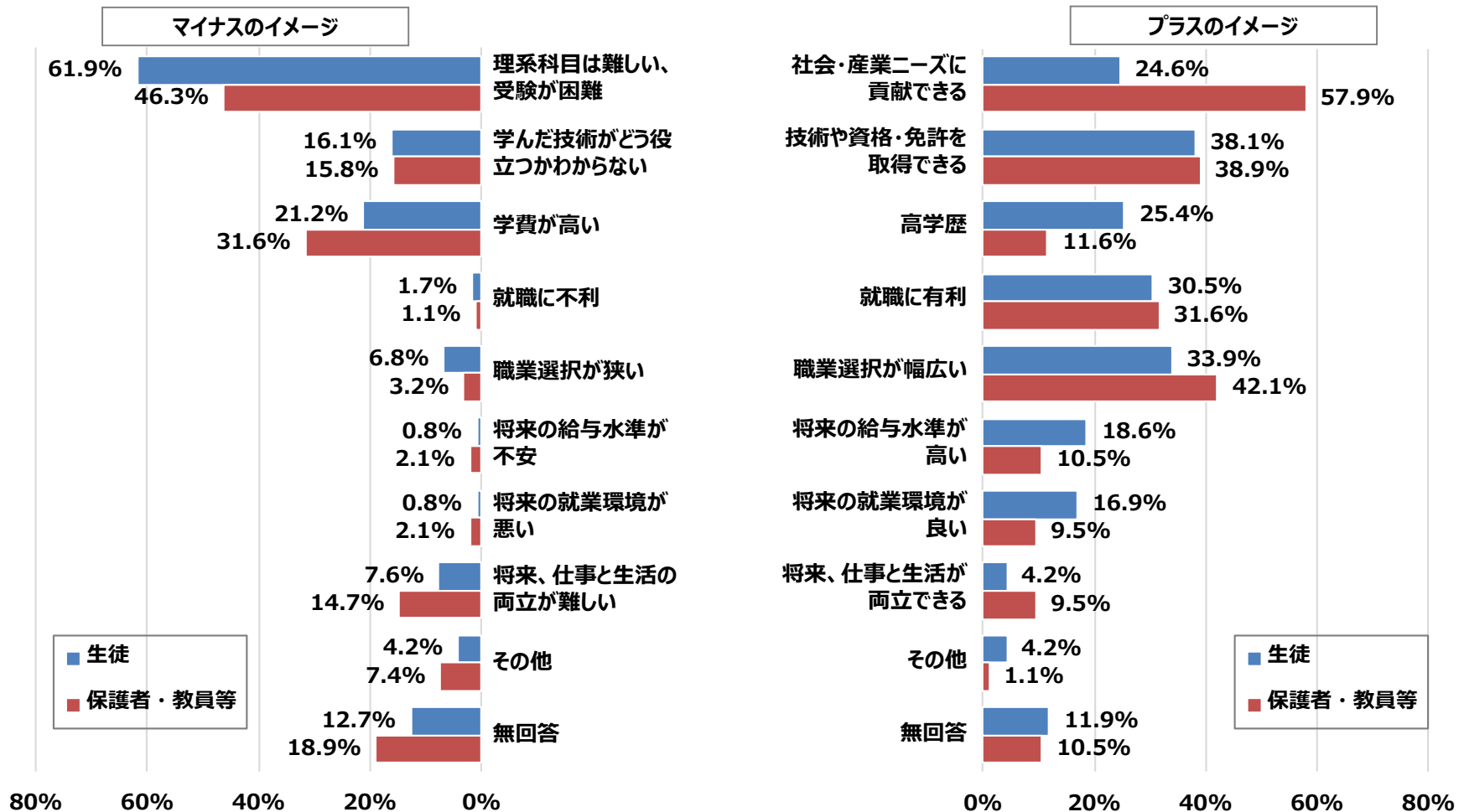


女子生徒等の理系の進路選択にかかる意識について

4. 理系の進路選択に対するイメージ

- **生徒、保護者・教員等ともに、「理系科目は難しい、受験が困難」との回答が多く**、生徒の回答は6割以上となっている。
- 保護者・教員等が「社会・産業ニーズに貢献できる」と57.9%が回答しているのに対し、生徒の回答は24.6%と半分以下であるものの、生徒、保護者・教員等ともに、理系の就職や職業に対するイメージはプラスのイメージがマイナスのイメージを大幅に上回っている。
- ただし、「仕事と生活の両立」についてはマイナスのイメージの方がポイントが高く、必ずしも就職後のイメージを含めてプラスのイメージとは言えない。

Q.理系の進路選択について、どのようなイメージを持っていますか。(複数回答) (生徒：N=118 保護者・教員等：N=95)



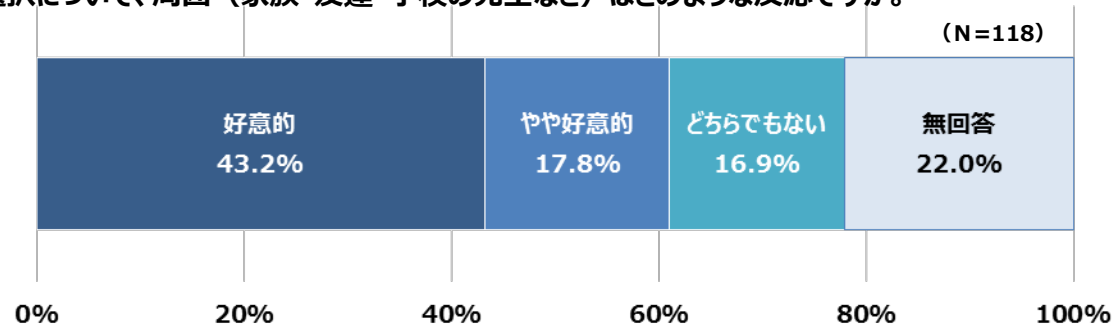
女子生徒等の理系の進路選択にかかる意識について

5. 理系の進路選択に対する周囲（家族・友達・学校の先生など）の反応

- 「好意的」「やや好意的」の回答が6割を上回っており、「やや否定的」「否定的」との回答は見られなかった。

生徒

Q.あなたの理系の進路選択について、周囲（家族・友達・学校の先生など）はどのような反応ですか。



◆ 好意的

- 学費が高いが、やりたいならいいよと言ってきて、あまり否定的な人はいなかった。
- 好きなことは貫きなさいと言われていた。
- 周りは賛同している。
- 家族は理系に進むことを理解している。
- 始めはとても驚いていました。しかし、私のやりたい事だと知り、理解してくれています。
- 家族は大賛成。友達は納得している。先生には言っていない。
- 家族も先生も手に職があった方が良くと賛成だが、自分ではやっていけるか心配。
- みんな好意的だった。両親も理系の方がいいとまで言っていた。
- 小さい頃から理系に進みたいと思っていたので親は賛成。女子校だが文理の比率は同じくらいなので友達も好意的。
- 将来なりたい職業があるのでみんな勧めている。
- 親は私の考えを尊重してくれた。
- 家族は母以外、みんな理系なので私が理系を選ぶことに対して好意的である。また、将来やりたいことも理系なので、その職業に対しても賛同してくれる。

◆ やや好意的

- 自分のやりたいことをやっていいと言われている。先生とは進路について話されただけで何も言われていない。
- 両親共に自分に興味のある道へ進めと言われた。
- 理科が得意だったのと、親に勧められたこともあり、何となく選んだ。
- 先生にはあまり言わず、家族は難しいけどがんばれと言ってくれた。
- 家族や先生も私が理系を選んで正解だと言われた。
- 先生には高1の間にたくさんのを体験できるので理系にも文系にも興味を持つべきと言われました。
- 家族の中で理系を選択したことに賛成している人とやや否定的な人がいる。
- 学校の先生は応援してくれている。しかし家族は受験や将来が不安と少し否定的。
- 研究が好きなら考えてみて良いと言われた。

◆ どちらでもない

- 家族には任されている。
- 「好きな方で良い」と両親はいいます。
- 家族や友達、先生はみんな好きな方を選ぶべきだと言っている。

(自由記述 一部抜粋)

女子生徒等の理系の進路選択にかかる意識について

6. 理系の進路選択にあたり体験してみたいこと

- 生徒については、回答のあった57名中45名（全体の38.1%）が「職場や研究施設の見学・体験」を希望する内容の記述をしており、特に、具体的な職業や分野を希望する声が多い。
- 保護者・教員等については、回答のあった48名中20名（全体の21.1%）が「職場や研究施設の見学・体験」をお子様または生徒に体験させたいと回答しているものの、生徒の回答と比較して、具体的な職業等については触れていない。
- また、保護者・教員等のうち、回答のあった48名中18名（全体の18.9%）が「大学の見学・体験」を体験させたいと記述しているのに対し、生徒の回答は6名であった。

生徒

- 「研究所」と呼ばれる所がどのような場所なのかの体験。
- 文理両方を活かした職場などを見てみたい。
- 「獣医」「医療・薬学系」「プログラマー」「理系を支えている道具など（ピーカーなどの実験器具）を作る工場や職場」「バイオテクノロジー」「食品関係」「化粧品関係」「JAXA・宇宙関係」「ロボット工場」等の職場見学・体験。（自由記述 一部抜粋）

保護者・教員等

- 大学の研究室見学。
- 様々な職場見学をし、身近に職業を感じてほしい。
- 短期間のインターン。

（自由記述 一部抜粋）

7. 理系女性が少ない理由また理系女性が増えるために必要なこと

- 生徒からは回答のあった68名中23名（全体の19.5%）から、「先入観・イメージ」に対するネガティブな意見があり、それを払拭することがリケジョが増えるために必要であるとの記述が特に多い。
- 保護者・教員等については、回答のあった51名中20名（全体の21.1%）が「情報発信」の必要性にかかる記述をしており、次いで、「授業、教育システム」に対する記述が51人中15名（全体の15.8%）と多かった。

生徒

- 女性は数学が苦手という固定概念が強い。また外国と比べると日本は数学にふれる機会が少ないと思うので、小さい頃から数学にふれ、数学が好きな人が増えればリケジョも増えると思う。
- 女子は文系というイメージが強いからだと思う。イメージをなくしていくことが必要だと思う。
- まだ女子は文系、男子は理系という先入観があるから。
- 理系に進むことにより、どのような利点があるのかを世間に示し、たくさんの人に理解が行き渡ること必要だと思います。（自由記述 一部抜粋）

保護者・教員等

- 理系に進むために数学、理科の苦手意識が芽生えないような教育の必要性を感じます。
- 理系にハードルを感じる人が多いので文理が分かれる高校までにそのハードルを取り除ければ良いと思います。
- 理系は現場の仕事だと、だから仕事と家庭の両立が難しいと思われるから、今日の座談会のような話（現場にいなくても仕事できる）が普及すれば増えると思う。（自由記述 一部抜粋）